

医療機関における安心・安全な電波利用推進シンポジウム

総務省及び電波環境協議会は医療機関における安全な電波利用を推進するため、医療関係者等への周知啓発、電波管理人材の育成等を目的として、シンポジウムを開催します。

参加費
無料

配信期間 令和5年3月1日(水)9時～3月22日(水)17時

開催方法 オンデマンド配信(J-Stream)

対象 医療関係者、医療機器メーカー、通信事業者の方など

シンポジウム概要

■主催者挨拶

■講演（各テーマ15分程度）

医療現場におけるローカル5G、sXGP、IoT、医用テレメータの電波管理システムなどの活用事例から、医療機関の新たな電波利用の可能性を紹介します。

■パネルディスカッション（1時間程度）

新型コロナウイルス感染症拡大以降、医療現場においては、患者の遠隔モニタリング、オンライン診療やオンライン面会の対応などで電波利用が急速に拡大しています。健康・医療データの活用や医療DX化を進める上でも適正な無線環境の整備は必須です。「医療機関における電波利用への期待と課題」をテーマに専門家が議論を交わします。

パネルディスカッションの主な論点(仮):

- ・ 質の高い医療サービスを支える電波利用への期待
- ・ 医療現場が抱える電波利用の課題と解決策

講演テーマ、登壇者は次頁をご覧ください。

申込方法

下記の申込み用URLまたは右のQRコードよりお申し込みください。

<https://www.emcc-info.net/info/info20230301.html>



申込み期限 令和5年3月16日(木)13時まで

- ・ 電波環境協議会が申込みの受付を行います。
- ・ オンデマンド配信用URLは、2月22日以降にメールでお知らせします。2月22日以降の申込みについては、オンデマンド配信用URLをお知らせするメールの発出まで、1～2営業日必要となる場合があります。
- ・ 申込みの際にお知らせいただいた氏名等の個人情報は、当該シンポジウムへの参加集約にのみ使用し、シンポジウム終了後廃棄します。

本シンポジウムは、以下の認定制度の更新のためのポイント／点数の取得対象となります。

- ・ 医療機器情報コミュニケーター(MDIC)認定制度
- ・ ホスピタルエンジニア認定制度(CHE)
- ・ 臨床ME専門認定士制度
- ・ 臨床工学技士認定制度(令和5年3月8日追加)

主催：総務省 電波環境協議会

主催者挨拶

総務大臣政務官 国光 あやの
電波環境協議会 会長 福地 一

講演

5Gによる4K高精細画像を利用した遠隔診療と遠隔救急搬送
～地域医療格差解消を目指して～

徳島県立海部病院 副院長 影治 照喜

Local5G、ロボット、画像認識を活用した効率的な院内外薬剤
トレーサビリティに関する実証実験

群馬大学医学部附属病院 システム統合センター 准教授 鳥飼 幸太

病院における次世代PHS「sXGP」

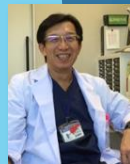
独立行政法人国立病院機構 京都医療センター 医療情報部長 中原 孝洋

医療×ITのさらなる可能性に向けて。
次世代のIoT活用、新たなソリューション研究

アライドテレシス株式会社 Global Product Marketing部
ワイヤレス事業グループ 事業グループ長 加藤 紀康

電波監視装置による医用テレメータの電波管理

埼玉医科大学 保健医療学部 臨床工学科 講師 川邊 学



パネルディスカッション

テーマ:医療機関における電波利用への期待と課題

コーディネータ



加納 隆
滋慶医療科学大学大学院 客員教授
電波環境協議会
医療機関における電波利用推進委員長



花田 英輔
佐賀大学 理工学部 情報部門 教授
電波環境協議会
医療機関における電波利用推進副委員長

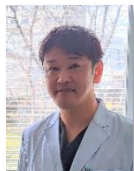
パネリスト (50音順)



大道 道大
日本病院会
副会長



紫藤 秀文
東京医科大学
総合情報部
情報システム統括室
室長



多田 和弘
君津中央病院
臨床工学科
科長



長島 公之
日本医師会
常任理事

松田 真太郎
埼玉医科大学
国際医療センター
MEサービス部
主任

シンポジウムに関するお問い合わせ先:

株式会社三菱総合研究所 デジタル・イノベーション本部
「医療機関における安心・安全な電波利用推進シンポジウム」運営担当
電子メール:denpa_sympo@ml.mri.co.jp